

旭公民館だより

発行 令和8年8月
旭公民館
館長 伊吹 公雄
電話 45-5903
FAX 45-5903

静物画に挑戦！ 水彩画教室

夏休み居場所づくり

8月7日(金)、旭公民館主催の絵画(水彩画)教室を開催しました。対象は小学4年生以上で、5名の子どもたちが参加しました。講師は、TAM色鉛筆画講師の渡辺泰法先生(中之町)です。

今回は静物画に挑戦。

バナナやリンゴなどのモチーフを前に、先生から「まずはよく見るのが大事」と教わり、子どもたちは形や影をじっくり観察していました。いきなり細かく描かなくてもよく、丸や大まかな形を描いておけば、あとで色を塗るときに調整できるとのこと。

色を塗るときは、薄い色から少しずつ濃くしていくのがポイント。先生のアドバイスを受けながら、子どもたちは真剣な表情で筆を動かしていました。出来上がった作品を見て「まあまあかな」「上手にできた!」と満足そうな声が聞こえました。「楽しそうだと思って参加した」という子どもも、「来て良かった」と笑顔を見せていました。

今回の水彩画教室では、子どもたちが静物画にじっくり向き合い、描く楽しさと学びをしっかり感じていました。渡辺先生の丁寧な指導のもと、よく見ることや形を大まかにとらえる、そして薄い色から重ねるといった基本を身につけることができました。

完成した作品を前に見せた子どもたちの笑顔は、達成感と次への意欲を感じさせるものでした。



元気をもらっている場所ー旭公民館に響く子どもたちの声

旭公民館では、旭小学校の児童に空き部屋を開放しています。

館長は、子どもたちの賑やかな声が利用者の皆さんのご迷惑になっているのではないかと心配しておりました。

しかし先日、水墨画教室の生徒さんから「普段子どもの声を聴くことがないので、ここで元気をもらっています」と笑顔で声をかけていただき、思わずこちらも笑みがこぼれました。

子どもたちの元気な声が響く旭公民館。時には小さなトラブルが起きることもありますが、静まり返った場所より、にぎやかな方がずっと良いと感じています。

ここで過ごした時間が、子どもたちの心のどこかに少しでも残ってくれば幸いです。

(裏面へ)

子どもと高齢者が つながる夏のひととき

笑顔と元気が行き交う
夏休みの居場所づくり



棒を使ってウォーミングアップ



足を使ったボール運び。むずかしいなあ



みんなでボールを回しながら笑顔に

旭小4年生 絵画展示

題 材

「わすれられないきもち」

9/8(火)～10/10(土)

旭公民館 1階展示スペース

旭公民館では、夏休み期間中の子どもの居場所づくりとして、旭元気もりもり教室とあざみ会（ボッチャ）の協力により、それぞれの教室を開催しました。

元気もりもり教室では、子どもたちが高齢者の皆さんと一緒にウォーミングアップを行い、体を動かしながら楽しく交流しました。

子どもたちは終始うれしそうで、元気な声と笑顔が部屋いっぱいになりました。

高齢者のみなさんからは「子どもと一緒に元気が出る。にぎやかになって良い」という声が聞かれ、子どもたちの明るさが大きな力になっている様子でした。

ボッチャ教室では初めての子どもも多く、コートにボールを投げるたびに歓声があがり、和やかな雰囲気の中で世代をこえた交流が深まりました。

子どもたちからは「ボッチャはおもしろかった。またやりたい」といった声があがり、楽しさがしっかり伝わる時間となりました。

子どもたちと高齢者のみなさんが一緒に体を動かし、遊び、笑い合うことで、夏休みならではの温かい居場所づくりが実現。

元気いっぱいの子と、それを見守る高齢者のみなさんの笑顔が重なり、地域のつながりを深める貴重なひとときとなりました。



ボールを投げるたびに楽しそうな歓声が



初めてのボッチャにわくわくする子どもたち